白河高校同窓會報

発行所
郵便番号　961－0851
福島県白河市南登り町54
白河高校同窓会
☎0248-24-1116
発行人
鈴木雅文
編集委員長
堀川哲雄
㈲古楓堂堀川印刷所



不確実な時代を拓く、登龍の志

学校長　近東　昇

同窓会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より母校の教育活動に対し多大なるご支援と熱いエールを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、令和８年度も半年が過ぎ、本校では生徒たちが学業や部活動、そして伝統の行事に青春のエネルギーを注いでおります。特に最高学年である３年生の多くは部活動を引退し、それぞれの進路実現という大きな「関門」を突破すべく、日々真剣に机に向かっており、その姿はまさに未来を切り拓かんとする「登龍健児」そのものであります。

目を世界の世相に転じますと、生成AIをはじめとする技術革新は一段と加速し、地球規模の環境変化や流動的な国際情勢など、現代は予測困難で不確実な時代が続いております。このような正解のない社会へ漕ぎ出す生徒たちに必要なのは、本校の伝統である「文武両道」「質実剛健」の精神に根ざした、確かな人間力としなやかな強さです。

現在、白河高校では、日々の質の高い授業に加え、地域の課題解決に挑む探究活動に積極的に取り組むなど、時代の変化を見据えた教育を展開しております。時代がどのように移り変わろうとも、この白河の地で育まれる「高い志」と「挑戦する心」の価値が変わることはありません。激動の世相をチャンスへと変え、未来の担い手となる若き力を、教職員一丸となって育んでまいります。

同窓生の皆様が社会の第一線で活躍される姿は、在校生にとって進むべき道を照らす偉大な道標です。今後とも、母校の後輩たちを温かく見守り、導いていただけますようお願い申し上げます。

結びに、同窓会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



変わりゆく同窓会　変わることのない同窓会

同窓会長　鈴木雅文（高28）

同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より同窓会活動ならびに母校白河高校の発展のために多大なるご支援・ご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我々同窓会も１００周年を経て、同窓生の入会者がピークの３６０名から２００名になるなど同窓会の活動計画も新しいフェーズに入ってきていると実感しております。現実として福島県の県立高校は、統廃合が毎年行われております。我が校といたしましては、このような中、学校として特色を持ち、行きたい学校、行かせたい学校になるよう共に歩んでいきたいと考えております。本会といたしましても「事業見直し検討委員会」を設置し、その答申を受け新たな形での同窓会活動を行い始めました。学校や後援会、父母と教師の会と緊密に連携を取りながら、在校生がより充実した学生生活に励めるよう努めてまいります。その活動が今後、白河高校を目指し入学していただく指針になってもらえることと思っております。

過ごした時代や校舎の風景、そこに登校する生徒の共学化など取り巻く環境が違えども、その時代時代でこの学び舎で苦楽を共にし、夢や希望を語り合った仲間との絆は一生を通じての宝であり、共通の話題でもあります。これはどの世代においても言える事であります。我々同窓会はこれらを第一義に考え、会員相互の親睦と絆をより一層緊密なものとなるようお手伝いできますよう活動してまいります。

伝統ある、文武両道の精神の下、努力を重ねる学校と生徒を支えていく同窓会であり続けてまいりますので、同窓生の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和８年度同窓会総会開催

本年５月16日、東京第一ホテル新白河にて令和８年度白河高等学校同窓会総会を開催しました。今年は幹事当番学年である高36回卒の皆様が60名以上参加して下さったおかげで、総勢90名近くが参加する総会となりました。

新たに就任した金内貴弘事務局長（高40）の司会進行のもと、校歌斉唱、黙祷に続いて、鈴木雅文会長（高28）、近東昇校長の挨拶がありました。その後各支部より出席された皆様方の紹介が行われ、支部の皆様を代表して東京登龍会会長の加藤直二氏（高27）より挨拶がありました。また、来賓を代表して福島県議会議員の三村博隆氏（高41）、保護者と教師の会会長の道又伸一氏（高44）からご祝辞をいただきました。

議事では、慣例により還暦を迎えた幹事担当学年（高36回）から片野勝司氏が議長に選出されました。

議事として提出された、

①　登龍賞表彰規定改定
　専決処分承認の件
②　部活動激励金授与規定の
　制定承認の件
③　令和７年度　事業報告
④　令和７年度　決算報告
⑤　令和８年度　事業計画案
⑥　令和８年度　予算案

のすべての議案が、満場一致で承認されました。

その後、事務局より白河高校の年間計画、令和７年度卒業生の大学等合格状況の報告があり、閉会となりました。

総会後に行われた懇親会も大いに盛り上がり、参加者各々が同窓の絆を深めることができました。





令和８年度同窓会役員

会長	鈴木雅文（高28）	
副会長	金澤博信（高29）	
副会長	満山喜美（高33）	
副会長	諸橋和典（高34）	
事務局長	金内貴弘（高40）	
会計	横村勝己（高37）	
会計監査	有賀秀晴（高28）	
会計監査	鈴木茂久（高29）	
会計監査	芝澤浩（高39）	
庶務	下重泰治（高31）	
庶務	齋藤正明（高32）	
庶務	藤田龍文（高39）	
庶務	須釜俊男（高40）	
庶務兼子	聡（高41）	
庶務青木	大（高43）	
庶務宗田	浩一（高43）	
庶務高内	慎介（高46）	

令和８年度同窓会講演会

授かりたい。をお手伝い　不妊症と鍼灸

三瓶鍼療院
三瓶真一（高36）

この度、同窓会総会における幹事学年の記念講演にて、当方が生業としている鍼灸院のライフワークとして研究している不妊症について紹介させていただきました。

ＷＨＯ（世界保健機構）の２０２３年の調査では、全世界のカップルの内６組に１組が不妊に悩んでおられるということです。我が国においても２０２１年では出生の11人に１人が不妊治療の最終手段である体外受精で授かった子供であるそうです。しかしながら、卵と精子を体外で出会わせて受精卵を作り子宮に移植するという現代医学の英知を結集したこの技術でも妊娠できないカップルは多く、厚生労働省の２０２２年の資料では、１回の体外受精（胚移植）で出産できる確率は19・７％と２割以下になるそうです。これは、結婚年齢の高齢化により、男女とも生殖機能が衰えるため、高度な生殖医療でも効果が現れにくいのだと考えられています。

当院に来院する不妊カップルの多くは、何度も体外受精を行ってもなかなか妊娠できない方ばかりです。こうした方々に鍼灸治療を行いながら体外受精を続けていただくと、少なからず妊娠される方がいらっしゃいます。

当院では鍼灸開始前後での精液所見の変化や体外受精での採卵成績の変化を観察し、その成果を集積して高度生殖医療を補完できる技術を追求しています。私なりの社会貢献として学会で発表し、講演活動を通して全国各地の鍼灸師に伝え、一組でも多くのカップルの不妊を解消すべく努力しております。



令和９年度総会のお知らせ

期　日　令和９年５月22日(土)
講演会　16時～17時
総　会　17時～18時
懇親会　18時～
場　所　東京第一ホテル新白河

※詳細につきましては、令和９年４月頃、ホームページに掲載いたします。

令和７年度 白河高等学校同窓会決算書

収入の部　（単位　円）

項目	予算額	決算額	備考
繰越金	1,468,394	1,468,394	白信(¥710,687) ゆうちょ(¥737,707) コンビニ払い(¥20,000)
入会金	742,800	722,400	¥1,200×619 名、転退学者返金有
賛助金	2,000,000	2,477,180	
同窓会基金より	1,000,000	0	
雑収入	806	45,605	預金利息、御芳志、書籍等
合計	5,212,000	4,713,579	

支出の部　（単位　円）

款 / 項目	予算額	決算額	備考
総務費	500,000	303,852	
事務費	30,000	28,912	封筒、ラベル等、卒業アルバム代
通信費	120,000	89,240	送料
会議費	50,000	40,000	東京登龍会参加
総会費	100,000	41,450	会場料、謝礼
旅費	80,000	55,120	東京登龍会参加
慶弔費	20,000	0	
交際費	100,000	49,130	新聞広告
教育助成費	500,000	412,958	
学校図書充実費	150,000	150,000	図書視聴覚部
体育文化助成費	100,000	31,900	祝看板
卒業記念品助成費	100,000	81,058	印鑑セット
進路対策費	150,000	150,000	進路対策講演会
事業活動費	2,751,000	2,293,722	
支部育成費	100,000	63,000	支部総会
会報発行費	2,400,000	2,120,095	印刷、発送
事業費	100,000	65,552	ホームページ管理料、慰霊祭献花等
研修費	1,000	0	
登龍賞基金	150,000	45,075	賞状、副賞
基金	1,000,000	0	
同窓会基金	1,000,000	0	
予備費	461,000	0	
予備費	461,000	0	
合計	5,212,000	3,010,532	

令和８年度 白河高等学校同窓会予算書

収入の部　（単位　円）

項目	予算額	前年度対比	備考
繰越金	1,703,047	234,653	
入会金	804,600	61,800	¥1,200×390名、¥1,800×187名
賛助金	2,000,000	0	
同窓会基金より	1,000,000	0	
雑収入	353	△ 453	預金利息他
合計	5,508,000	296,000	

支出の部　（単位　円）

款 / 項目	予算額	前年度対比	備考
総務費	540,000	40,000	
事務費	30,000	0	封筒・ラベル等、卒業アルバム代
通信費	120,000	0	送料
会議費	80,000	30,000	東京登龍会参加
総会費	100,000	0	会場料、謝礼
旅費	90,000	0	東京登龍会参加
慶弔費	20,000	0	香典・弔電など
交際費	100,000	0	新聞広告
教育助成費	500,000	0	
学校図書充実費	150,000	0	図書視聴覚部
体育文化助成費	100,000	0	祝看板
卒業記念品助成費	100,000	0	印鑑セット
進路対策費	150,000	0	進路対策講演会
事業活動費	2,451,000	△ 300,000	
支部育成費	100,000	0	支部総会
会報発行費	2,000,000	△ 400,000	印刷、発送
事業費	100,000	0	ホームページ管理料、慰霊祭献花等
研修費	1,000	0	
登龍賞基金	150,000	0	賞状、副賞
部活動激励金	100,000	100,000	
基金	1,500,000	500,000	
同窓会基金	1,500,000	500,000	
予備費	517,000	56,000	
予備費	517,000	56,000	
合計	5,508,000	296,000	

・決算収入額￥4,713,579－決算支出額￥3,010,532＝残額￥1,703,047 が、次年度繰越金になっています。
・同窓会基金の残額は￥3,446,628、創立 100 周年記念事業基金の残額は￥7,104,470 です。昨年度比で利息分だけプラスになっています。

【令和８年度の予算書で例年と異なる部分について】

・事業活動費に「部活動激励金」の項目が追加になりました。これは、昨年度の事業見直し検討委員会の答申を受け、登龍賞の授与対象を本来の学業のみに限定することとする登龍賞表彰規定の改定を行ったことに伴い、部活動を登龍賞の対象としない代わりに、顕著な活躍（主に全国大会出場）があった部活動に激励金を授与する激励金授与規定を制定しましたので、そのための予算を計上しています。
・昨年の会報でご案内した通り、卒業後 20 年以上の卒回の皆様（賛助金のご協力をいただいている皆様を除く）につきましては、今年度から奇数・偶数の卒回に分け、交互に２年に１回のお届けに変更するため、会報発行費についてその分の減額を見込んでいます。

母校だより

人事異動

３月末をもって、**増子文隆**校長（高36）と**柳沼徹**事務長が本校で退職を迎えたのをはじめ、**吉田秀敏**教頭（高39、安積高校へ）など計14名の教職員が異動となりました。

４月には、喜多方桐桜高校より**近東昇**校長、高校教育課より**荒井大樹**教頭（高53）、ふたば医療センターより**村上雄美**事務長を始め、計16名の教職員を新たに本校にお迎えし、その中で同窓生は次の１名です。



教頭
荒井大樹
（高53）

活気ある校舎を目にし、思い出深い母校に教頭として着任できた喜びでいっぱいです。在学中は勉学や吹奏楽部に打ち込み、青春を過ごしました。歴史ある本校の発展に尽力し、夢に向かって邁進する後輩たちの活躍を支援してまいります。今後ともご指導のほどお願いいたします。

支部だより

東京登龍会総会を終えて



東京登龍会会長
加藤直二（高27）

東京登龍会の令和８年総会は快晴の５月23日に上野精養軒で開催され、白河より鈴木雅文同窓会長、近東昇校長をはじめ多くのご来賓と鈴木清一先生のご引率により新卒の首都圏の大学生６名などが参加され、盛会となりました。



総会では、この１年間の活動や収支などを報告したのち、講演で書道家・遠藤昌弘氏（高30）による「書道って、むずかしいの」と題して、今年末に書道がユネスコ文化遺産への登録が見込まれていることや、歴史や文化的価値、手書き文字や書道の魅力など大変貴重なお話をいただきました。

懇親会も盛り上がり、世代を超えた交流の広がりを実感いたしました。終始活気に満ちた雰囲気のもと、恒例の校歌斉唱、庄田育夫氏（高17）による「フレーッ！フレーッ！白高！」で盛会裡に締めくくることができました。



西郷支部の近況報告

支部長　金澤隆夫（高23）

西郷支部令和８年度総会を９月４日に小田倉地内の蒼の里で開催しました。西郷村の真船貞副村長（高34）、同窓会本部からは鈴木雅文会長、金内貴弘事務局長、さらに近東昇校長のご臨席のもと、会員18名が出席しました。

総会では、高橋秀郎さん（高22）が選出され、議事では、令和７年度事業報告及び決算報告、令和８年度事業計画及び予算が異議なしで承認されました。

総会終了後、菊地國雄さん（高12）の発声で懇親会に移り、盛会のうちに終了しました。

これまで支部総会の様子を句に詠んで支部便りに寄せていただいた和知肇さん（高14）が昨年９月に急逝されました。これまで素敵な句を寄せていただき、感謝申し上げます。昨年の句を再度載せさせていただきます。

乾杯のビール冷たく
喉に染み　昼の暑さを
しばし忘れる



矢祭支部便り

支部長　佐藤洋一（高27）

矢祭支部総会を、令和７年10月18日、ユーパル矢祭で開催しました。総会には、鈴木雅文同窓会会長、諸橋和典同窓会副会長、吉田秀敏教頭先生にも、ご多忙のなか、お越しいただきました。木村支部長の挨拶ののち、令和６年度の事業と決算、令和７年度の事業計画と予算が承認されました。また、今回は、役員改選の年度に当たり、新役員（後述）を選出し、承認されました。

懇親会では、杯を重ねるごとに、同窓の絆を感じる楽しい懇親会となり、校歌の大合唱でお開きとなりました。

矢祭支部では、ＬＩＮＥグループを作成していますが、登録者数は、まだまだ芳しくありません。登録者数をもっと増やし、さらなる活性化を図っていきたいと思います。



白河高等学校同窓会矢祭支部
新役員

支部長　佐藤洋一（高27）
副支部長　金澤博信（高29）
副支部長　鈴木孝（高30）
幹事長　和田孝（高28）
幹事　下重泰治（高31）
幹事　鈴木直人（高35）
幹事　古市賢（高43）
幹事　押田洋平（高48）
顧問　金澤寛（高16）
顧問　片野堯夫（高16）
顧問　木村芳朗（高19）

進学報告

埼玉大学に進学して



森田　遥

私は現在、埼玉大学経済学部に在籍しており、寮で一人暮らしをしています。食事や洗濯を自分で行いながら、寮生同士で授業の疑問を教え合ったり、困ったときに助けてもらったりと、互いに支え合いながら生活しています。

埼玉大学の経済学部は他学部に比べて授業選択の自由度が高く、自分の関心のある分野を優先して学ぶことができます。入学当初はレポート作成に苦戦しましたが、少しずつ短時間で書けるようになってきました。

気づけば1年の半分が過ぎ、受験への焦りや煩わしさを感じている方も多いと思います。しかし、受験は必ず終わります。受験後の自分がより多くの幸せを感じられるよう、あと少し、自身の目標に向けて取り組んでみてほしいです。

前橋工科大学に進学して



稲垣愛果

私は現在、前橋工科大学の建築・都市・環境工学群、工学デザインプログラムに在籍しています。前橋市は多くのお店やアミューズメント施設が点々と立地しており、車や自転車さえあれば充実した生活を送ることが出来ます。

私が所属するプログラムでは2年次に空間、プロダクト、情報に分かれるため、建築、製品や車のデザイン、音響などに興味がある人はぜひ前橋工科大も視野に入れて欲しいと思います。私は本当にこの大学に入学して良かったと思っていますが、先生がこの大学を勧めて下さらなければ存在自体知らなかったと思います。受験生の皆さんは受験直前まで進路に悩まされると思いますが、諦めずに先生方を頼ってみてください！

福島県立医科大学に進学して



田中　葵

私は現在、福島県立医科大学医学部医学科に在籍しています。大学生活にも一人暮らしにも慣れてきた時期ではありますが、高校時代とは異なる試験や勉強の重みを感じています。

医学部は基本的に全講議必修で、現在は教養科目や高校で選択していない理科など今後医学を学ぶための土台となる学習をしています。日々のほとんどが社会人のような生活スタイルにはなりますが、興味ある勉強やサークル活動など時間がいくらあっても足りない毎日です。

在校生の皆さんは今、受験や勉強に追われている日々かと思います。辛い日々もあると思いますが、今の勉強が無駄になることはありません。あっという間の3年間を大切に、皆さんが自分の夢を掴み取れることを応援しています！

立正大学に進学して



櫻岡秀斗

私は、現在立正大学経営学部経営学科に在籍しています。授業は、マーケティングや会計、簿記などが必修としてあります。

大学では、高校時代に野球部の部長だった経験をいかし、学生起業できるように頑張っています。また、高校時代に文武両道に取り組むことがとても大切だと気づきました。大学は自分が興味を持っていることが学べる一方で自由に遊ぶこともできます。文武両道に励んできたことにより、メリハリを持って取り組み生活できています。今は大変だと思いますが全力で頑張ってください。

最後にこれからの人生、人との出会いがとても大切で大きな転換点になることもあります。今いる友人とこれからの出会いを大切にしてください。応援しています！

同窓会ホームページをご覧下さい

昨年度より白河高等学校同窓会のホームページを公開しています。

同窓生の皆様のお役に立てるコンテンツの充実と情報発信に努めてまいります。

住所変更等がございましたら、ホームページからご連絡ください。

連絡可能な内容

- 氏名の変更
- 住所または電話番号の変更
- 勤務先の変更
- 逝去のご連絡　等

（逝去のご連絡をされる場合は、本人との間柄が明確にわかるように必ず連絡者を備考欄にご入力ください。）

白河高校同窓会
ホームページ
https://dousoukai.site/toryuu/

進路報告

令和７年度卒業生の進路状況

進路指導主事　三　瓶　義　元

令和７年度卒業生219名のうち、197名が四年制大学に進学しました。その割合は、卒業生数に対して90・0％となります。内訳は国公立大学が107名（54・3％）、私立大学が90名（45・7％）となっており、ここ数年の傾向と同様に、国公立大学進学者が四年制大学の進学者のうちの半数以上を占めています。進路先は様々ですが、卒業生各々が、進路希望の実現に向けて３年間積極的に活動し、そして、最後まで粘り強く努力した結果だと思います。

進路状況を別の視点でみますと、国公立大学合格者数は延べ114名となっており、３年続けて100名を超えました。この中で、東北大学７名の合格、東北大学医学部医学科への初めての合格とそして、福島県立医科大学医学部医学科への３年ぶりの合格は、特筆に値することかと思います。

最後に、卒業生を支えたご家族や地域の皆様、同窓会の皆様に改めて感謝申し上げます。

令和７年度卒業生　大学等合格状況一覧

《国公立大学》

学校名	男	女	計
帯広畜産大		1	1
北見工大	1	1	2
岩手大	1		1
東北大	5	2	7
宮城教育大	2	2	4
秋田大	1		1
山形大	4	5	9
福島大	10	9	19
茨城大	1	1	2
筑波大		1	1
宇都宮大	1		1
群馬大	1		1
埼玉大	4	2	6
千葉大		2	2
東京学芸大		1	1
東京農工大	1	1	2
新潟大	8	3	11
金沢大	2	1	3
山梨大	2		2
琉球大	1		1
釧路公立大	1		1
青森県立保健大		1	1
青森公立大	2	1	3
宮城大		1	1
秋田県立大		1	1
会津大	3		3
福島県立医大	4	9	13
前橋工科大		2	2
群馬健康科学大		1	1
高崎経大	1	1	2
千葉保健医療大		1	1
東京都立大		1	1
横浜市立大		1	1
新潟県立大	1	2	3
都留文科大	2		2
芸術文観光職大		1	1
国公立大学合計	59	55	114

《私立大学》

学校名	男	女	計
仙台大	4		4
東北学院大	10	4	14
東北工大	4		4
東北福祉大		1	1
宮城学院女子大		2	2
仙台白百合女大		1	1
医療創生大		1	1
郡山女子大		3	3
福島学院大		1	1
国際医療福祉大	7	17	24
作新学院大		1	1
自治医大		1	1
獨協医大		1	1
白鷗大	6	7	13
宇都宮共和大		1	1
高崎健康福祉大		3	3
埼玉工大		1	1
城西大	1		1
東京国際大		2	2
文教大	2	7	9
文京学院大		1	1
日本医療科学大	1		1
東都大		1	1
敬愛大	1		1
聖徳大		1	1
千葉工大	22	5	27
帝京平成大		2	2
青山学院大		1	1
亜細亜大	1		1
桜美林大		2	2
大妻女子大		1	1
学習院大	2		2
北里大	4	1	5
杏林大		1	1
工学院大	5		5
国学院大	1		1
国士舘大	1		1
駒澤大	5	1	6
実践女子大		5	5
芝浦工大	4		4
順天堂大	1	1	2
昭和女子大		1	1
成蹊大	2		2
聖心女子大		2	2
専修大		3	3
大東文化大	2	2	4
拓殖大	4	5	9
玉川大		3	3
中央大	1		1
帝京大	1		1
東海大	9	2	11
東京経大	2		2
東京電機大	5		5
東京理大	3		3
東邦大		1	1
東洋大	14	14	28
日本大	24	3	27
日本獣医生命大		3	3
日本体育大	1		1
法政大	6	2	8
東京都市大	8		8
武蔵野大	2	2	4
明治大	4	2	6
明治学院大	2		2
明星大		2	2
立正大	3		3
早稲田大	1		1
白梅学園大	1		1
麻布大	1		1
神奈川大	1	3	4
神奈川工科大		1	1
湘南工科大		2	2
フェリス女大		3	3
長岡大	1		1
新潟医療福祉大		2	2
金沢星稜大		1	1
金沢工大	1		1
帝京科学大		1	1
京都産業大	1		1
立命館大		2	2
近畿大	2		2
私立大学合計	184	139	323

《短期大学》

学校名	男	女	計
会津大短大部		6	6
郡山女大短大部		1	1
大妻女大短大部		1	1
短期大学合計		8	8

《専門学校》

学校名	男	女	計
白河厚生病院附属高看		1	1
大阪医療附看護		1	1
トヨタ自動車大	1		1

《専門学校》

学校名	男	女	計
バンタンミュージックアカデミー		1	1
国際こども福祉カレッジ		1	1
国際ビジネス公務員大学校	1		1
専門学校合計	2	4	6

《就職》

企業名	男	女	計
住友ゴム工業株式会社	1		1
縁故採用	1		1
就職合計	2		2

《予備校等》

学校名	男	女	計
河合塾	3		3
他の予備校・塾	1		1
自宅浪人等	6		6
予備校等合計	10		10

令和７年度卒業生　合格先状況一覧

学校名	男	女	計
国公立大学	59	55	114
私立大学	184	139	323
四年制大学合計	243	194	437
短期大学		8	8
専門学校	2	4	6
留学			
就職	2		2
その他		1	1
小　計	4	13	17
合　計	247	207	454

令和７年度卒業生　進路先状況一覧

学校名	男	女	計
国立大学	43	32	75
公立大学	11	21	32
私立大学	48	42	90
四年制大学合計	102	95	197
短期大学		3	3
専門学校	2	4	6
就職	2		2
留学			
その他		1	1
小　計	4	8	12
次年度進学予定者	10		10
合　計	116	103	219

※詳細は、学校ホームページをご覧下さい。

部活動報告

第73回全国高等学校剣道大会に出場して

剣道部　３年　野瀬　くるみ



白河高校剣道部は、８月２日から５日まで奈良県奈良市で開催された第73回全国高等学校剣道大会女子団体戦に出場しました。結果は予選リーグ敗退となり、目標としていた日本一を叶えることができず、悔しい気持ちでいっぱいです。しかし、先鋒から大将まで、四分間最後まで相手を狙い続け、攻める気持ちを貫いて戦えたことは、これまでの練習の成果だと思います。「大好きな先生方を日本一にしたい」という思いで挑んだ全国大会は、厳しく、苦しく、それでも楽しい大会でした。これまで共に戦ってきた仲間、熱心にご指導くださった先生方、支えてくださった保護者の方々、そしてＯＢ・ＯＧをはじめ、応援してくださった皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

剣道部　２年　加藤　穂乃里

私は、奈良県で開催されたインターハイに個人戦で出場しました。結果は、兵庫県の代表選手と対戦して一回戦敗退。この大会に全てをかけて、本気で汗を流してきたはずなのに、全国大会で勝ち上がることの難しさや、努力の足りなさを痛感させられました。最後まで熱心に指導してくださった先生やいつも支えてくれた家族、たくさんの方の応援と期待に応えることができず、今でも悔しい気持ちでいっぱいです。この悔しさを糧にして、これからも支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、また一から努力して、来年のインターハイに挑みます。応援ありがとうございました。

第108回全国高等学校野球選手権福島大会

野球部　３年　笹山　峻



まさかマウンドに自分が立つなんて・・・と今でも思うことがあります。私は、２０２４年にこの白河高校野球部に入部しましたが、身長145㎝、体重48㎏と高校球児としてやっていけないような体格でした。周りの先輩からも心配され、内野手として入ったもののチームに何も残せないまま３年間過ぎていくのだと勝手に思っていました。そんな私の転機となったのは、高１の秋の終わり頃です。監督の「ピッチャーをやってみないか」という一言が自分の野球人生を変えてくれました。サイドスローとして、変則の一投手として生き抜く。打撃も伸びず、足も速くなく、セカンドの４、５枚目だった私にとっては、その道しかないと思いました。それからは先輩や同期の仲間、そして監督に支えてもらいながら、多くの迷惑をかけながらも試合に出させてもらい、投手としての日々を送らせていただくことができました。

初めて公式戦のマウンドに立てたときは、大きな不安の中に喜びを感じながら投げたのを今でも覚えています。夏の大会が始まるまで残り少なく、自分たちが積み上げてきたものを出し切る舞台がもう目の前まで迫っているのを感じます。前述の成長記録のようなものを書いたものの、心の中では不安や自問自答は絶えることがないし、自分がまだ完成された投手ではないことも自覚しています。しかし、今までやってきたことが無駄ではなかったことの証明をするために、背番号に関係なくチームを勝たせるピッチャーになるために、どんな場面でも自分のピッチングをします。

結　果

それぞれの熱い思いで臨んだ夏の大会、１回戦、福島西高校戦は、エース高橋が１点差を守りきり２対１で勝利。２回戦、尚志高校戦は、笹山が先発し３回無失点と役目を果たしましたが、終盤逆転を許し、３対４で負けてしまいました。

白河で初戦を迎えられたこともあり、今まで支えてくださったみなさんに野球を楽しんでプレーする姿を見てもらうことができました。応援していただきありがとうございました。

あきた総文祭を通して

書道部　３年　佐　藤　日　葵



私は７月27日から秋田県で行われた、第50回全国高等学校総合文化祭・書道部門に出場しました。今回私が出品したのは「関戸本古今集」という仮名作品です。思うように書けず苦戦することもありましたが、練習を重ねる中で作品を深めることができました。

また交流会では、秋田杉のなまはげキーホルダーや木ハガキ、竿燈の提灯に文字を書き、全国の生徒と交流し、貴重な時間を過ごすことができました。

あきた総文を通して、多くの学びや刺激を受け、書道への関心がさらに深まりました。全国という舞台に立つ機会をいただけたこと、支えてくださった先生方や家族、書道部の皆に感謝し、この経験を今後の活動に生かしていきたいです。

後援会だより



後援会会長　照井　耕輔（高48）

令和８年４月25日に白河高校体育館において開催された後援会総会では、すべての議案をご承認いただきました。

日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

後援会では、生徒たちが安心して学び、充実した学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備や部活動への支援を中心に活動しております。勉学や部活動に真剣に取り組む登龍健児の姿は、私たちに大きな力を与えてくれます。

これからも学校と保護者、地域が連携し、生徒一人ひとりが夢や目標に向かって挑戦できる環境づくりに努めてまいります。

今後とも、白河高校の発展と登龍健児のさらなる活躍のため、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

部活動激励金授与式

登龍賞の授与対象が学業のみに厳格化されたことから、部活動の活躍に対しては登龍賞ではなく激励金を授与する規定案を今年度の総会に上程し、承認されました。規定の詳細は割愛しますが、運動部、文化部を問わず全国大会出場を決めた団体・個人に対して同窓会から激励金を授与するという内容になっています。

今回、その授与第１号として７月15日、学校の校長室にて、左記の皆さんへの激励金授与式が行われました。

（全国総体　剣道競技）
女子団体　野瀬くるみさん
女子個人　加藤穂乃里さん　他６名
（全国総文祭　書道部門）
佐藤日葵さん



会報発行方法の変更について

昨年の会報でもご案内しましたが、会報の発行方法が今年度から一部変更になりましたので、再度ご案内申し上げます。

昨年まで本同窓会報は、前年度賛助金にご協力下さいました皆様、19歳・25歳・30歳・35歳となる卒回の皆様、並びに卒業後20年以上の卒回の皆様にお届けしておりましたが、今年度より、卒業後20年以上の卒回の皆様につきましては、奇数・偶数の卒回に分け、交互に２年に１回のお届けに変更になりました。

そのため、今年度は高58・56・54～の皆様に送付し、来年度は高59・57・55～の皆様に送付する形になります。

ただし、賛助金にご協力下さいました皆様には、卒回に関係なく翌年度と翌々年度も同窓会報を郵送させていただきます。何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年度の賛助金

2,477,180円

皆様の温かいご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

賛助金納入のお願い

皆様よりお寄せいただきます賛助金は、３頁の予算・決算書にご覧いただけますように、本会の活動と母校の援助のために使われております。今年度も、皆様の温かいご協力をお願い申し上げます。

賛助金は　１口　１，０００円
できるだけ３口以上でご協力ください。

郵便振込
郵便振替番号
０２１００－４－２７７４
加入者名
福島県立白河高等学校同窓会
払込人負担はありません。

コンビニ振込
同封の専用用紙
（一律３口　３，０００円）
払込人負担はありません。
※スマホ決済が、諸般の事情により今年度から無くなりました。

なお、皆様のご協力への感謝として、他校の同窓会によっては賛助者全員のお名前を会報等に掲載するところもございますが、当会では個人情報保護の観点から行っておりません。本誌面での御礼の言葉にて代えさせていただきますことを、どうかご了承下さい。

叙勲等

令和８年春の叙勲
斉須秀行（高25）瑞宝小綬章
佐川俊雄（高８）瑞宝双光章

令和７年秋の叙勲
金澤　寛（高16）旭日双光章
鈴木進一郎（高22）瑞宝双光章
君島正信（高30）瑞宝単光章

令和６年秋の叙勲
金内啓四郎（高７）瑞宝双光章

訃報

芳賀　憲一（高19）
石岡　弘（高７）令８・９・８

（叙勲、訃報は学校内同窓会事務局にご連絡のあった方々をお載せしました。）

編集後記

現役合格者が増えている状況大変うれしく感じています。又、部活動も全国大会等で活躍しております。先輩諸兄姉のご指導、応援よろしくお願い致します。また、今年は鹿島神社例大祭の年になります。懐かしく思い出して頂ければ幸いです。

会報編集委員会
会報担当同窓会副会長　諸橋　和典（高34）
編集委員長　堀川　哲雄（高15）
編集委員　金内　貴弘（高40）
〃　末永明日香（高62）
〃　大橋美夕紀（高65）
同窓会報担当（学校）野尻　勝行
事務担当（学校）鈴木　清一（高36）
事務担当（学校）大橋謙太郎